

検討の進め方

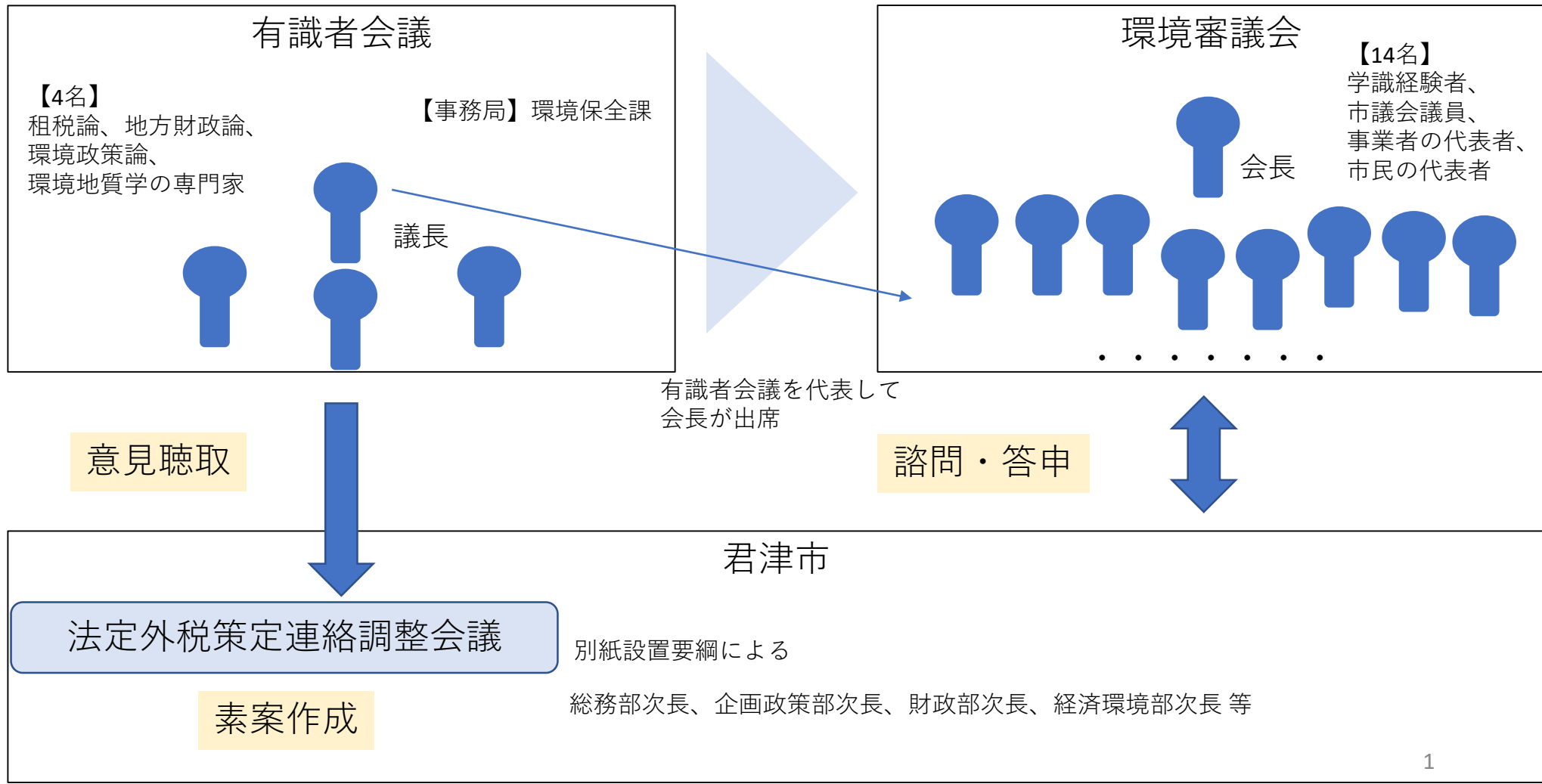
- ・ 検討体制
- ・ 主な論点
- ・ 今後の会議の流れ

新たな環境施策としての法定外税制度検討有識者会議
令和7年10月20日

1 検討体制

- 1. 経済環境部、財政部、総務部、企画政策部で連絡調整
- 2. 有識者会議により、専門家の意見を聴取しながら制度設計
- 3. 環境審議会に諮問

<イメージ>



2 有識者会議名簿

敬称略・五十音順

選出区分	氏 名	役 職 等
学識経験者	青木 宗明（あおき むねあき）	神奈川大学経営学部 教授
	金子 林太郎（かねこ りんたろう）	熊本学園大学経済学部 教授
	倉阪 秀史（くらさか ひでふみ）	千葉大学大学院社会科学研究院 教授
	鈴木 喜計（すずき よしかず）	環境地質学者（君津システム(株)）

3 主な論点（たたき台）

【一般的な道府県産廃税条例の構成】

第1 課税の根拠

→ 普通税か目的税か。目的なども規定

第2 定義規定

第3 納税義務者

第4 課税標準

→ 道府県産廃税一般では、最終処分場に埋立処分のために搬入される産業廃棄物の重量とされる。

第5 税率

→ 道府県産廃税一般では、1トンにつき、1, 0 0 0円とされる。

第6 賦課徴収方法

申告納付又は特別徴収

第7 減免

【考えられる主な論点】

1 税導入の必要性

2 使途

3 課税物件（課税客体）

課税の対象とされる物・行為又は事実

4 課税標準

課税物件を具体的に数量や金額で示したもの

5 納税義務者

6 税率

7 徴収方法

8 非課税事項

9 課税を行う期間

1 0 骨子案

1 1 最終案

赤字 =
時間をかける必要がある
と考えられる論点

4 今後の会議の流れ（予定）

	議題とする論点
第1回	・ 税の必要性（課税の根拠）について ・ 課税客体について
第2回以降	・ 課税標準について ・ 税負担水準について ・ 税率について ・ 骨子（たたき台）について ・ 事業者意見聴取について ・ 骨子（案）について